黒田みちのたんぽぽだより NO251（2023年9月・10月）

ブログ・Facebook・インスタ

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが住んでよかったと思える川西市に・・・

たんぽぽだより

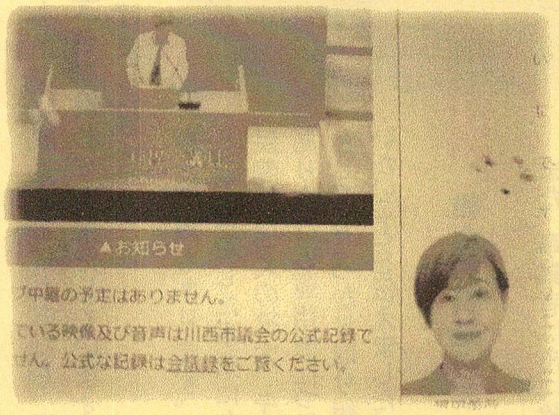
日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控え室 TEL 740-1111（内線4020）
直通FAX 759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760
たんぽぽだよりブログ
http://kurodamich.exblog.jp

9月議会一般質問「安心してこどもを産み育てることができるまちづくりを」

健やかな育ちを応援する市政に

9月議会の一般質問で私（黒田）は、①保育料（3号）の多子減額・免除を拡充すること、②留守家庭児童育成クラブの昼食配食サービスについて、③給食費無償化に取り組む考え方、の3項目で提案・討論を行いました。質問内容を補強し、傍聴者の方にも配布された資料は、黒田のブログ、フェイスブックに掲載しています。質疑は市議会ホームページで動画配信中です。（左写真画面）



物価3.3％上昇生活直撃

子育てをめぐる環境は厳しさを増しています。

総務省が8月18日に発表した7月の消費者物価指数は、2020年を100として105.7、前年同月比3.3％上昇しました。鶏卵36.2％、穀類8.1％、生鮮品10.8％、トイレットペーパー14.8％上昇し、光熱費やガソリン代の大幅値上げも加わって、日常生活を直撃しています。

一方、厚生労働省が発表している2022年賃金は、この20年間に9200円しか上がっていません。男性は、たったの5800円のアップ。女性は35300円上がっているものの、いまだに男性比75.7％という厳しい状況が続いています。（表①）

金かかりすぎる子育て・教育

出生動向基本調査では、「理想とする子どもの数」は2021年2.25人で2015年比0.07人減と減少傾向のうえ、実際の出産数は激減。産みたいが産めない状況が続いています。

その理由の第1位（52.6％）は、子育てや教育にお金がかかり過ぎること（国立社会保障・人口問題研究所調べ）

私（黒田）の身近でも「本気で少子化対策っていうなら、子育て・教育にお金がかからないようにしてほしい」という声をたくさんお聴きします。

出生率低下、低い川西市

国や県の合計特殊出生率（表②）は前年より低下。川西市は、この間ずっと、国や県より低い割合で推移しています。

この状況を抜本的に解決するためには、希望する子ども数を安心して産み育てられ、こども達ひとりひとりの育ち・発達を保障していくことが必須です。中でも「子育て、教育にお金がかかる」状況の改善、市の支援策と国や県を動かして連携し、財源を確保することが急がれます。

市「必要だが財政措置無理」

私（黒田）は、就学前施設だけの兄姉カウントではなく、せめて小中生にも拡大すること。段階的にでも高校生や大学生などにも対象を広げること。半額負担の第2子は無料にすることなど、保育料の負担軽減策を拡充すべきと提案しました。

せめて多子減額・免除枠拡大を

現在、保育所やこども園など就学前保育教育施設入所のこども達には、国の保育料（3号・0~2歳児）の多子減額と免除の制度があります。

第1子は全額保護者負担、第2子半額負担、第3子無料ですが、一定所得以上世帯では、就学中西哲教育推進部長の答弁は、保育料の負担軽減の必要性は認めるものの、第2子を無料にするには約9800万円、0~2歳児の保育料無料化には約4億2600万円予算措置が必要として、国の制度拡大・動向を注視する。国には要望する～にとどまりました。

市の財政的負担ではできない、を繰り返しましたが、私（黒田）は、30～40歳代の賃金（表④）、生活実態などを示し、市が取り組む必要性と国に強く要望するよう求めました。

川崎市、加西市では前進

他市の動向では、9月4日報道で川崎市が、多子減額・免除制度の所得制限をなくし、兄姉の年齢制限を撤廃する方向を明らかにしたこと。加西市が、「住み続けたい理由が加西市にはある。ただ、幸せに」と子育て5つの無料化（保育料、給食、医療費高校卒業まで、1歳までオムツ、病児病後児保育）を進めておられることなども紹介しました。

なんと加西市では、高齢者や子育て世帯、小中学生市内バス無料化など他の施策も充実しています。

財源確保を含め、何を優先させるまちづくりにしていくのか、引き続き、安心して産み育てることができるまち、こども達が豊かに健やかに育つまちづくりをめざして取り組んでいきます。

表① 男女賃金比較（厚生労働省HPより）

賃金	2002(H14)年	2022(R4)年	差
男女	302600円	311800円	9200円
男性	336200円	342000円	5800円
女性	223600円	258900円	35300円

表② 合計特殊出生率

	R3年	R4年
国	1.30	1.26
県	1.36	1.31
市	1.22	—

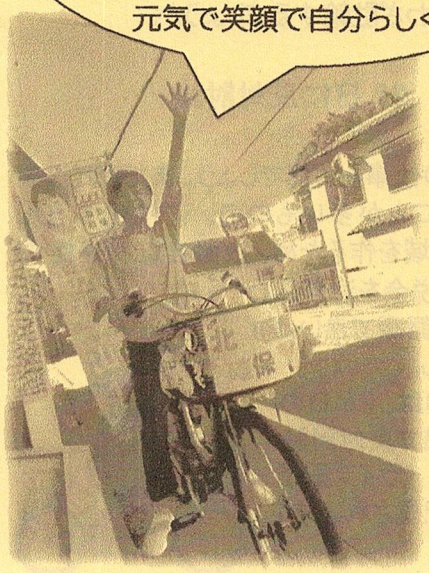
表③ 保育料負担軽減人数

入所児童	所得制限なし		57700円未満		ひとり親等 77101円未満			合計
0～2歳児	第2子半額	第3子以降無料	第2子半額	第3子以降無料	第1子減額	第2子無料	第3子以降無料	
1030人	339人	21人	29人	8人	3人	3人	1人	404人

表④ 年齢別・男女別賃金

年齢(円)	男女賃金	男性賃金	女性賃金
30~34	281000	297000	254000
35~39	312500	335800	268200
40~44	333700	363600	275600
45~49	349200	388100	278500

皆さんのおかげで
在職20年を迎えることができました。
これからも、皆さんの思いや願いを大切に、全力で取り組んでまいります。引き続き、よろしくお願いします。
元気で笑顔で自分らしく！



ブログ「たんぽぽだより」やFacebookにプラスしてインスタグラムをはじめました。はじめた途端、「写真乗っ取り」にあってアセアセしていますが、上のQRコードで見ることができます。まだまだ十分ではありませんが、がんばります ぜひご覧ください。
「いいね」「フォロー」もお願いします